



東京都島しょ農林水産総合センター八丈事業所
<https://www.ifarc.metro.tokyo.lg.jp>

2023年のハマトビウオ漁



2023年の水揚状況

八丈島において、ハマトビウオは「春トビ」という通称名で親しまれ、町のシンボルにもなっています。

2023年のハマトビウオ漁は3月11日に始まり、5月14日の水揚げを最後に約2ヶ月におよんだ漁が終わりました。

八丈島におけるハマトビウオの水揚げ尾数・水揚げ数上位3隻の延べ出漁隻数・CPUE（1日1隻当たりの水揚げ尾数）を表1に、2023年の水揚げ尾数の推移とCPUEを図1に示しました。2023年の水揚げ尾数は約2万尾となり、2013年以降では2020年、2022年に次いで3番目に少なく、過去10年平均のわずか6%の値でした。延べ出漁隻数は、過去10年平均の52%である44隻で、CPUEは同15%の457尾/日・隻となりました。

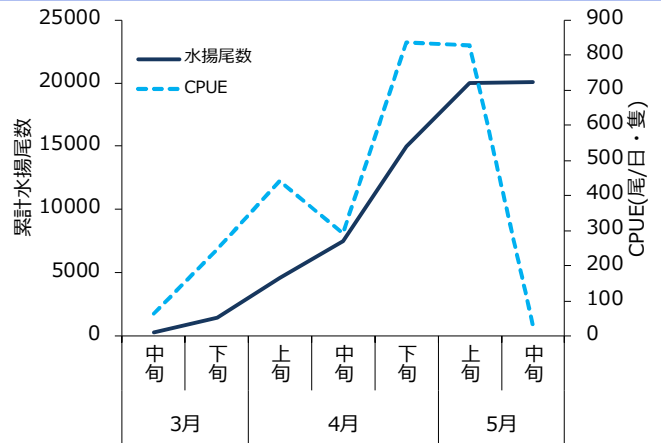


図1 2023年のハマトビウオ水揚げ尾数とCPUEの推移

資源状況

八丈島では、最大の水揚げ尾数を記録した1961年には800万尾を超える水揚げがありました。その後、好漁が続きましたが、1981年の347万尾の好漁を最後に1984年から激減し、1991年には水揚げが0となりました。その後、資源は回復傾向にありましたが、再び2020年から水揚げ尾数が極端に減少しています。

数年前から水揚げ尾数が減少していることから、来年以降の状況についても、注意深く見守る必要があります。



図2 ハマトビウオの水揚げ風景

表1 八丈島におけるハマトビウオの水揚げ尾数と

| 漁期 | 水揚げ尾数 (尾) | 延べ出漁隻数 (隻) | CPUE (尾/日・隻) |
|-------|-----------|------------|--------------|
| 2013年 | 688,597 | 135 | 5,101 |
| 2014年 | 669,435 | 113 | 5,924 |
| 2015年 | 342,975 | 129 | 2,659 |
| 2016年 | 491,501 | 101 | 4,866 |
| 2017年 | 219,833 | 106 | 2,074 |
| 2018年 | 358,589 | 74 | 4,846 |
| 2019年 | 269,583 | 109 | 2,473 |
| 2020年 | 821 | 6 | 137 |
| 2021年 | 102,821 | 49 | 2,098 |
| 2022年 | 11,022 | 23 | 479 |
| 10年平均 | 315,518 | 85 | 3,066 |
| 2023年 | 20,113 | 44 | 457 |